

RoHS10 対応品

- 精密計測用の小型センサ
- ナノ結晶軟磁性材料を採用することで小型でありながら1mA～80Aのワイドレンジをカバー。
- 1°以下の位相角（60Ω以下 特性図参照）。
- 微小電流領域で良好な出力直線性（特性図参照）。
- 3000：1の高変流比で二次電流が小さく直接電子回路へのインターフェースも可能。
- 仕上外径9mm未満のビニル絶縁電線を使用した交流電流測定に適したモデル。

Figure 1 shows the dimensions and connector pin number. The top diagram is a side view of the connector with dimensions: 26.5, 140 ± 20, 13.2, 26, and a hole diameter of φ9. It also indicates a black (黒) and white (白) color coding. The bottom diagram is a top view of the connector with dimensions 12 and 12, and a label 'コネクタピン番号' (Connector Pin Number) with a table showing pin 1.

コネクタ ピン番号
1

コネクタ ピン番号	アサイン
1	k/CT (4) 出力
2	l/CT (5) 出力

型 式	CTL-9L-30X
適 用 電 流	1mA ~ 100Arms (50Hz / 60Hz $R_L \leq 10 \Omega$)
許容最大電流	200Arms 連続 (50Hz / 60Hz 正弦波)
出 力 特 性	出力電圧特性参照
直 線 性	$\pm 1\%$ FS ($I_o=50A$ $f=50/60Hz$ $R_L=60 \Omega$)
位 相 角	$\pm 1^\circ$ ($I_o=50A$ $f=50/60Hz$ $R_L=60 \Omega$)
公 称 変 流 比	3000 : 1
二次巻線抵抗	200 Ω (参考値)
耐 電 圧	AC2000V (50/60Hz), 1min (貫通穴-出力端子一括間)
絶 縁 抵 抗	DC500V, $\geq 100M \Omega$ (貫通穴-出力端子一括間)
使 用 条 件	-20°C ~ +75°C, $\leq 80\%$ RH, 結露のないこと
保 存 条 件	-30°C ~ +90°C, $\leq 80\%$ RH, 結露のないこと
構 造	PBT樹脂ケース
出力リード線	UL1007ビニール電線 (AWG26 $\times$ 150mm)
出 力 コ ネ ク タ	ピンコンタクト: SYM-001T-P0.6 リセプタクルハウジング: SMR-02V (日本圧着端子製造株)
適 合 端 子	ソケットコンタクト: SHF-001T-0.8BS プラグハウジング: SMP-02V-BC, NC (日本圧着端子製造株) (付属しません)
質 量	約15g

備考

- (1) リード線には1kg 以上の無理な引張力がかからないようにしてください。
- (2) 製品の仕様・検査等の記載内容において、特に記述が無い場合は常温・常湿・その他異常な振動の無い環境での測定を基準としたものであり、使用温度・使用条件範囲内での全ての性能を保証するものではありません。
- (3) 通電中の二次側開放は高電圧が発生する場合があり危険ですし、故障の原因になります。
- (4) 落下等の強い衝撃を与えるとケース破損や特性が低下する場合がありますので取り扱い時には注意願います。
- (5) 屋外暴露では使用することはできません。
- (6) 基本的には 50/60Hz でご使用いただく製品ですが、高周波でご使用の場合は、CTの発熱にご注意ください。

Figure 1 is a log-log plot showing the output voltage E_o (V) on the y-axis versus the average current I_o (A) on the x-axis for the 2N5012 tube. The y-axis ranges from 0.0001 to 100 V, and the x-axis ranges from 0.001 to 1000 A. Three curves are plotted for different load resistances R_L : $R_L = 10 \Omega$, $R_L = 100 \Omega$, and $R_L = 1 k\Omega$. The curves show that E_o increases with I_o and decreases as R_L increases. A note in the top right corner specifies $f = 50 \text{ Hz}$.